

第48期 事業報告書

平成16年4月1日～平成17年3月31日



二分割カルバート



代表取締役社長

権藤 勇夫

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引立てを賜り厚くお礼申し上げます。

当社第48期（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）の営業の概況等につきまして以下のとおりご報告申し上げます。

営業の概況 (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

1. 企業集団の営業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国の経済は、輸出の拡大を基調とした企業収益の回復にともなう設備投資の増加や雇用情勢の改善など、緩やかながらも景気回復基調にありましたが、先行き不透明な状況のなか推移いたしました。

当社グループが属するコンクリート製品業界におきましては、建設投資なканずく公共事業の縮減傾向のなか、同業者間の過当競争は避けられず依然として厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境下で当社は、平成16年3月に策定し、当連結会計年度より実行しております「新中期経営計画」を着実に達成すべく、事業所の統廃合による効率的な人員配置等により営業戦略の強化を図る一方、昨年度の子会社有限会社ヤマウ・アサヒ設立に続いて今年度は子会社有限会社ヤマウトラストを設立して、製造原価の削減並びに販売費及び一般管理費の削減策等、コストダウン、合理化を徹底して実行してまいりました。

経営体制面につきましては、抜本的事業改革の推進及び意思決定の迅速化を図るべく、取締役を4名体制とするとともに組織を大幅に簡素化いたしました。

また、財務面におきましては、当社の主力金融機関である株式会社福岡銀行の支援による発行総額6億円の第三者割当増資（債務の株式化による優先株式の発行）の実施による資本強化並びに三重工場用地、いわき工場等の遊休不動産を処分して借入金的大幅な圧縮を図ってまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は110億21百万円、経常利益は2億13百万円、当期純利益は4億4百万円となりました。

なお、当連結会計年度は「新中期経営計画」の初年度目標は達成いたしましたものの、未処理損失を一掃するまでにはいたらず、誠に遺憾ながら配当金につきましては無配とさせていただきます。

株主の皆様にご迷惑をお掛けいたしますことを心からお詫び申し上げます。

(売上高の内訳)

(単位：千円)

期 別	第48期 平成16年4月1日から平成17年3月31日まで	
	金 額	構成比率(%)
部 門		
土 木 部 門	9,926,184	90.1
景 観 部 門	632,980	5.7
レジンコンクリート部門	462,317	4.2
合 計	11,021,482	100.0

2. 企業集団の対処すべき課題

今後の経済情勢につきましては、設備投資や雇用情勢の改善あるいは個人消費の緩やかな持ち直しなど、徐々に明るさが見え始めてはいるものの、原油価格、米国・中国経済をはじめとする世界経済の動向等、景気回復に影響を及ぼす不透明な要素も多く存在し、楽観視できない状況にあります。

また、当業界におきましては公共事業の縮減傾向は変わらず、依然として厳しい経営環境が続くものと思われまます。

このような状況下、当社グループは、新中期経営計画・2年目の目標達成に向けて、緻密な営業戦略の展開による売上の維持、営業利益の確保並びにグループ会社間機能連携強化によるコスト削減と生産性向上を図り、収益力を高めてまいり所存でございます。

3. 企業集団の資金調達状況

資金調達につきましては、金融機関よりの借入によるもののほかに、債務の株式化を図るため、平成16年8月31日に第三者割当の方法により、第1回優先株式の発行を行いました。

種類株式名称	第1回優先株式
発行株式総数	2,000,000株
発行価額	1株につき金300円
発行総額	600,000,000円

4. 企業集団の設備投資状況

- ① 当連結会計年度中の設備投資の総額は2億40百万円であります。
- ② その主なものは各工場における工具型枠、機械装置であり、機械装置については以下のとおりであります。

工場	内容
佐賀工場	ライン製造設備 テーブルバイプレーター設備 投入機製造設備
川南工場	中径製管機取替え
大分工場	ベルトコンベア設備
高崎工場	養生室改造 プラント設備
宮崎工場	スランプ自動管理装置

- ③ 重要な設備の売却は以下のとおりであります。(単位：千円)

工場	建物	土地	合計
いわき工場	99,409	182,611	282,020
岡山工場	25,942	117,504	143,446
三重工場用地	—	524,710	524,710
計	125,351	824,825	950,176

5. 企業集団及び当社の営業成績及び財産の状況の推移

- ① 企業集団の営業成績及び財産の状況の推移
当連結会計年度の営業成績・財産の状況は次のとおりであります。

区分	平成16年度 第48期(当連結会計年度)
売上高(千円)	11,021,482
経常利益(千円)	213,239
当期純利益(千円)	404,471
1株当たり当期純利益	76円75銭
総資産(千円)	9,557,446
純資産(千円)	834,596
1株当たり純資産	52円4銭

- (注) 1. 第48期(当連結会計年度)から初めて連結計算書類を作成することとなりましたので、過年度の企業集団の営業成績、財産の状況は記載いたしておりません。
2. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数(自己株式数を控除した株式数)により算出しております。又、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成14年9月25日 企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成14年9月25日 企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。
3. 1株当たり純資産は、期末発行済株式総数(自己株式数を控除した株式数)により算出しております。

② 当社の営業成績及び財産の状況の推移

当期並びに過去3営業年度の営業成績・財産の状況は次のとおりであります。

区 分	平成13年度 第45期	平成14年度 第46期	平成15年度 第47期	平成16年度 第48期(当期)
売上高(千円)	15,401,639	15,384,271	11,759,406	11,059,945
経常利益(△損失)(千円)	11,450	△ 276,341	△ 377,268	211,634
当期純利益(△純損失)(千円)	△ 229,460	△ 618,590	△ 4,087,720	403,359
1株当たり当期純利益(△純損失)	△ 41円68銭	△112円95銭	△749円43銭	76円53銭
総資産(千円)	19,340,605	17,987,853	10,666,741	9,565,354
純資産(千円)	4,513,650	3,872,792	△ 183,119	835,322
1株当たり純資産	819円87銭	710円2銭	△ 33円57銭	52円21銭

- (注) 1. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数(自己株式数を控除した株式数)により算出しております。又、第46期より「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成14年9月25日 企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成14年9月25日 企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。
2. 1株当たり純資産は、期末発行済株式総数(自己株式数を控除した株式数)により算出しております。
3. 第47期から改正後の商法施行規則に基づいて計算書類等を作成しております。このため、従来の「当期純利益(△損失)」「1株当たり当期純利益(△損失)」はそれぞれ「当期純利益(△純損失)」「1株当たり当期純利益(△純損失)」と表示しております。

会社の概況 (平成17年3月31日現在)

企業集団の主要な事業内容

セメント製品の製造・販売並びに施工、一般土木工事の施工並びに管理、樹脂コンクリート製品の製造・販売並びに施工を主な事業とし、その製品は大別して、次のとおりであります。

土木製品	河川製品類	ケスタ、グリーンロック、ネクストーン、Eブロック、げんじくん、かご樹、のり枘、がんちゃん、波状岩、のぼるくん、とおりゃん瀨、擬木沈床、CCブロック	景観製品	舗装材	洗い出し及び擬石による平板・縁石・階段・皿型、透水平板、トレノックス(Nox除去平板)、植込樹、植樹樹 他
	擁壁類	パワーロック、逆Y型擁壁、トレグリッド、ストーンフォーム、ゆうパネル、あいパネル		ストリートファニチャー	車止め、外柵、ベンチ、吸殻入れ・屑入れ、水飲み、プランター、ポール、パーゴラ、モニュメント、前記製品にLEDを埋め込んだピカコン製品 他
	L型擁壁類	NNC、ハイタッチウォール	レジンコンクリート製品	UPC階段、YRG (U形用蓋・側溝蓋)、fitサークル、カーストップ、フリーボーイ、誘導ブロック、係船柱、前記製品にLEDを埋め込んだピカコン製品、分岐部側板 他	
	カルバート類	ボックスカルバート、アーチカルバート、エアークャスター工法			
	函渠・暗渠類	ライン側溝、サイドライン側溝、側溝カルバート、重圧管			
	側溝類	リボン側溝、SF側溝、YCL側溝、トライボット用側溝			
	道路製品類	そうげん、プレガード、SGF(仮設用防護柵)、美サイレント、遮・ウォール			
	水路類	YT水路、三面水路、軽量三面水路			
その他	アクアボンド、ボックスガレージ、防火水槽、耐震性貯水槽				

●土木部門

道路、港湾、河川、上下水道、宅地開発など、私たちの周りではさまざまな目的で開発事業が進められておりますが、今日の開発事業は環境への配慮を抜きには考えられなくなってまいりました。土木部門では、「開発の基本は自然との共存である」という考えからさらに一歩進んで、「自然の姿を破壊せずに融合を図り、より自然に近い環境を創出する」ことを念頭においたコンセプトのもとに、国土を守り、環境を保全し、人々の快適な暮らしを支える製品を数多く生み出しています。



アーチカルバート



ネクストーン



エアークャスター工法

●レジンコンクリート部門

レジンコンクリートは特殊樹脂をバインダーとして自然石を固化成形した人造石です。セメントコンクリートの3~4倍の機械的強度があり、耐摩耗性、耐薬品性、耐水性などにも優れ、美観とともに強度や耐久性の両面が必要とされる環境条件に最適な材料です。港湾、漁港の車止め、コーナー及び係船柱は塩害対策として利用されています。又、多彩な色彩表現及び優れた成形性によりアート感覚溢れる景観構成材としても幅広く利用されています。



YRG集水蓋



カーストップ

●景観部門

街や都市の公園、テーマパークやアーバンリゾートは、人々の心の伸びやかさ、感受性の豊かさを育むうえで必要不可欠のものです。

緑地の花や樹木、自然の風景は人の心をなごませ潤いを与えます。

多彩な表情を持つヤマウの景観構成材は自然環境に広がり、と奥行きを与え、開放感やスケール感を損なうことなく美しい景観を演出します。



擬石平板、車止め



車止め

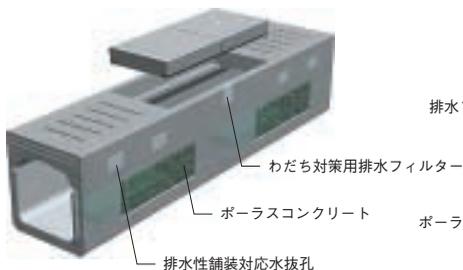
トピックス

浸透型側溝（NYT側溝・ピット側溝）

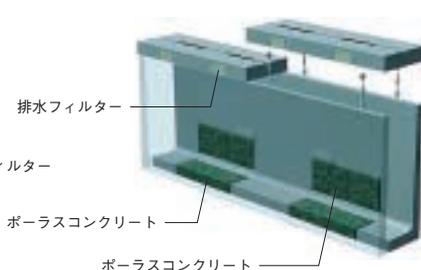
近年、都市化の進展により、地中への雨水の浸透量が減少し、河川の水質悪化、地下水の枯渇、ヒートアイランド現象や集中豪雨による都市型浸水被害などの環境問題が生じています。

ヤマウは、雨水を地下に浸透させることが諸問題の解決に寄与すると考え、さまざまな現場の条件に対応できるよう『浸透型側溝』の開発に取り組んでいます。

●NYT側溝



●ピット側溝



財務諸表

貸借対照表 (平成17年3月31日現在)

(千円未満切捨)

科 目	金 額
(資産の部)	
流 動 資 産	6,610,273
現金及び預金	396,991
受取手形	2,871,156
売掛金	2,115,560
有価証券	799
商 品	8,238
製 品	996,445
原材料・貯蔵品	93,920
仕掛品	39,277
前払費用	25,892
未収入金	137,744
その他の流動資産	37,774
貸倒引当金	△ 113,529
固 定 資 産	2,955,081
有形固定資産	2,638,926
建 物	666,531
構 築 物	99,423
機 械 装 置	483,517
車 両 運 搬 具	2,855
工 具 型 枠	196,774
器 具 備 品	8,758
土 地	1,180,697
建設仮勘定	366
無形固定資産	33,259
電話加入権	11,688
その他の無形固定資産	21,570
投資その他の資産	282,895
投資有価証券	214,454
差入保証金	40,017
子会社出資金	7,250
破産債権、再生債権、更生債権	295,976
その他これらに準ずる債権	
その他の投資等	28,204
貸倒引当金	△ 303,006
資 産 合 計	9,565,354

科 目	金 額
(負債の部)	
流 動 負 債	3,294,043
支払手形	1,658,724
買掛金	620,070
短期借入金	324,000
未払金	485,638
未払法人税等	20,855
預り金	4,698
賞与引当金	83,027
短期設備支払手形	86,670
その他の流動負債	10,357
固 定 負 債	5,435,988
長期借入金	4,888,700
退職給付引当金	470,940
繰延税金負債	33,234
リース資産減損勘定	43,113
負 債 合 計	8,730,031
(資本の部)	
資 本 金	800,000
資 本 剰 余 金	300,000
資本準備金	300,000
利 益 剰 余 金	△ 293,649
任意積立金	13,275
特別償却準備金	13,275
当期末処理損失	306,925
株 式 等 評 価 差 額 金	40,101
自 己 株 式	△ 11,129
資 本 合 計	835,322
負 債 及 び 資 本 合 計	9,565,354

損益計算書 (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで) (千円未満切捨)

科 目	金 額	
(経常損益の部)		
営業損益の部		
営業収益		
売上高	11,059,945	
営業費用		
売上原価	8,202,897	
販売費及び一般管理費	2,606,783	10,809,681
営業利益		250,263
営業外損益の部		
営業外収益		
受取利息・配当金	3,275	
保険配当金収入	15,193	
保険差益	11,005	
鉄屑処分収入	14,389	
その他の営業外収益	46,497	90,361
営業外費用		
支払利息	97,435	
その他の営業外費用	31,555	128,991
経常利益		211,634
(特別損益の部)		
特別利益		
固定資産売却益	308,059	
投資有価証券売却益	9,313	
貸倒引当金戻入額	14,401	331,774
特別損失		
固定資産売却損	96,336	
固定資産除却損	14,838	
たな卸資産評価損	1,905	
割増退職金	282	
リース中途解約損	14,479	127,841
税引前当期純利益		415,567
法人税、住民税及び事業税		15,155
法人税等調整額		△ 2,947
当期純利益		403,359
前期繰越損失		2,028,344
資本減少による欠損填補額		1,318,060
当期末処理損失		306,925

損失処理

(単位：円)

科 目	金 額
当期末処理損失	306,925,003
任意積立金取崩額	
特別償却準備金取崩額	4,347,706
計	302,577,297
これをつぎのとおり処理します。	
次期繰越損失	302,577,297

連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成17年3月31日現在)

(千円未満切捨)

科 目	金 額
(資産の部)	
流 動 資 産	6,608,699
現金及び預金	401,752
受取手形及び売掛金	4,974,077
有 価 証 券	799
たな卸資産	1,149,156
そ の 他	196,219
貸倒引当金	△ 113,306
固 定 資 産	2,948,746
有形固定資産	2,639,426
建物及び構築物	765,955
機械装置及び運搬具	486,372
土 地	1,180,697
建設仮勘定	366
そ の 他	206,033
無形固定資産	33,532
投資その他の資産	275,786
投資有価証券	214,454
そ の 他	364,339
貸倒引当金	△ 303,006
資 産 合 計	9,557,446

科 目	金 額
(負債の部)	
流 動 負 債	3,284,670
支払手形及び買掛金	2,276,540
短 期 借 入 金	324,000
未 払 金	476,114
未払法人税等	22,146
賞与引当金	83,486
そ の 他	102,383
固 定 負 債	5,435,988
長期借入金	4,888,700
退職給付引当金	470,940
繰延税金負債	33,234
そ の 他	43,113
負 債 合 計	8,720,659
(少数株主持分)	
少 数 株 主 持 分	2,190
(資本の部)	
資 本 金	800,000
資 本 剰 余 金	300,000
利 益 剰 余 金	△ 294,375
株式等評価差額金	40,101
自 己 株 式	△ 11,129
資 本 合 計	834,596
負債、少数株主持分及び資本合計	9,557,446

連結損益計算書 (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで) (千円未満切捨)

科 目	金 額	
(経常損益の部)		
営業損益の部		
営業収益		
売上高		11,021,482
営業費用		
売上原価	8,160,947	
販売費及び一般管理費	2,622,439	10,783,386
営業利益		238,095
営業外損益の部		
営業外収益		
受取利息・配当金	3,276	
保険配当金収入	15,193	
保険差益	11,005	
鉄屑処分収入	14,389	
その他の営業外収益	60,303	104,168
営業外費用		
支払利息	97,435	
その他の営業外費用	31,589	129,024
経常利益		213,239
(特別損益の部)		
特別利益		
固定資産売却益	308,059	
その他の特別利益	23,937	331,997
特別損失		
固定資産売却損	96,336	
固定資産除却損	14,838	
リース中途解約損	14,479	
その他の特別損失	2,187	127,841
税金等調整前当期純利益		417,395
法人税、住民税及び事業税		16,447
法人税等調整額		△ 4,189
少数株主利益		666
当期純利益		404,471

株式の概況 (平成17年3月31日現在)

●株式の状況

① 会社が発行する株式の総数 ……………22,024,000株

種類	会社が発行する株式の総数(株)
普通株式	20,024,000
優先株式	2,000,000

② 発行済株式の総数 ……………7,506,000株

種類	発行済株式の数
普通株式	5,506,000
第1回優先株式	2,000,000

(注) 当連結会計年度において、債務の株式化による第三者割当増資に伴い、第1回優先株式2,000,000株が増加いたしました。

③ 株主数……………561名

種類	株主の数
普通株式	560
第1回優先株式	1

●大株主の状況

① 普通株式

株主名	当社への出資状況		当社の当該株主への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)	持株数(株)	出資比率(%)
明治安田生命保険相互会社	325,000	7.23	—	—
第一生命保険相互会社	240,000	5.34	—	—
株式会社福岡銀行	222,000	4.94	—	—
ヤマウ従業員持株会	210,000	4.67	—	—
株式会社鹿児島銀行	195,000	4.34	46,317	0.02
株式会社トクヤマ	181,000	4.03	—	—
日本生命保険相互会社	170,000	3.78	—	—
株式会社西日本シティ銀行	160,000	3.56	15,885	0.00
高木孝男	140,400	3.11	—	—
みずほ信託銀行株式会社	140,000	3.11	21,551	0.00

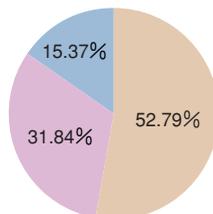
(注) 1. 株式会社西日本銀行は、平成16年10月1日付で株式会社福岡シティ銀行と合併し、株式会社西日本シティ銀行となっております。
2. 当社は、自己株式998,340株を所有しておりますが、当該株式には議決権がないため上記大株主から除外しております。

② 第1回優先株式

株主名	当社への出資状況		当社の当該株主への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)	持株数(株)	出資比率(%)
株式会社福岡銀行	2,000,000	—	—	—

●普通株式所有者別状況

個人・その他	476名	2,907,000株	52.79%
金融機関	12名	1,753,000株	31.84%
その他の法人	72名	846,000株	15.37%



会社概要

●会社概要

商号	株式会社 ヤマウ
本社	福岡市早良区東入部 五丁目15番7号
創業	昭和28年10月
設立	昭和33年2月
資本金	8億円
代表者	代表取締役 権藤 勇夫
従業員	451名 (平成17年3月31日現在)

●役員構成

代表取締役社長	…………… 権 藤 勇 夫
取 締 役	…………… 中 村 健一郎
取 締 役	…………… 伊 佐 寿 起
取 締 役	…………… 尾 野 友 信
常勤監査役	…………… 柴 田 紘
監 査 役	…………… 樋 口 正 孝
監 査 役	…………… 佐 藤 満 洋

(平成17年6月29日現在)

●事業所

営業グループ 福岡(中央・東・南)、北九州、久留米、佐賀、唐津、大分、大分北、宮崎、高鍋、延岡、日向、都城、日南、鹿児島中央、鹿児島北、鹿児島南、始良、鹿屋

工場 福岡、北九州、佐賀、大分、宮崎、高崎、川南、鹿児島

(平成17年6月29日現在)



宮崎工場



鹿児島工場

株主メモ

決算期日 毎年3月31日

定時株主総会 毎年6月下旬

基準日 毎年3月31日

その他必要があるときは、予め公告をして定めます。

配当金受領
株主確定日 毎年3月31日

なお、中間配当を行う場合の確定日は9月30日

1単元の株式数 1,000株

名義書換代理人 三菱信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱信託銀行株式会社

証券代行部

同取次所 三菱信託銀行株式会社

全国各支店

公告掲載新聞名 日本経済新聞

貸借対照表及び損益計算書の公告は、当社ホームページ
(<http://www.yamau.co.jp>) に掲載しております。



本紙製本率100%再生紙を使用しています。

この冊子はすべて再生紙を使用致しております。